

育みたい

Ⅳ 夢・希望



親子で
チェック

- | | | |
|----------------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 1 子どもの成長を見つめ、よいところを伝えている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 2 子どもが興味をもっていることや将来の夢について話をしている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 3 自分の仕事のよさや大変さについて話をしている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 4 学校での学習と社会とのつながりについて話をしている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 5 世の中の出来事やニュースを話題にしている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |

夢を育む場

子どもの夢を育み、可能性を広げるためには、現場で活躍する人にふれたり、実際に自分が体験したりすることが大切です。

千葉県では、子どもが、先端的な科学・技術体験や様々な就業体験を行う「千葉県夢チャレンジ体験スクール」を実施しています。研究者や職業人との交流を通して、職業に必要な資質や能力等について学ぶことができます。

ちば 夢チャレ

検索



仕事にふれる場

子どもが「働くこと」に興味をもち、自立して、仕事を通じて社会に貢献することができるようになるためには、大人が働く姿を見せたり、家庭で仕事の話をしたりすることで、「働くこと」の大切さを知る機会を積極的につくっていく必要があります。

学校の職場見学での感想を話題にしたり、親の職場を見せる機会があれば積極的に見せたりして、親や大人が働く姿に接する機会をつくっていきましょう。



つなげたい

V 体験活動・地域とのかかわり

親子で
チェック

- | | | |
|-------------------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 1 地域の方々（近所の方）にあいさつをしている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 2 地域行事（ボランティア活動、スポーツ・文化活動等）に参加している。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 3 異年齢の子どもたちと遊んでいる。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 4 自然や動植物とのふれあいを大切にしている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 5 図書館・公民館・博物館・美術館・自然の家等を利用している。 | ☐ はい | ☐ いいえ |

心の成長には豊富な体験を！

子どもの頃の体験（自然体験、動植物とのかかわり、友だちとの遊び、地域活動、家族行事、家事手伝い）が豊富な人ほど、大人になってからのやる気や生きがい、規範意識や人間関係能力などの資質・能力が高い傾向があります*。親子で地域の活動や体験の場に積極的に参加しましょう。

*独立行政法人国立青少年教育振興機構の調査結果から

「親力アップいきいき子育て広場」の活用を！

聞いてみよう子どもの声、子育て豆知識、おすすめの本など
家庭教育・子育てに役立つ情報を発信中！

ちば 親力

検索



【QRコード】

発行／千葉県教育庁教育振興部生涯学習課

〒260-8662 千葉市中央区市場町1番1号 TEL 043-223-4069・4167 FAX 043-222-3565
【家庭教育の支援】 <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shougaku/renkei/kateikyoku/index.html>

家庭教育リーフレット



小学生
(4・5・6年)の
保護者の
皆様へ

もう一度 やってみよう！ 親子でチェック！



※1年生の時に家庭教育リーフレット小学生(1・2・3年)版「やってみよう！親子でチェック」を配布しています。

じっくりと見つめ、力強くサポートを！

小学校生活も半分が過ぎ、ずいぶんとたくましく成長したお子様。自分一人でできることが増える一方で、まだまだ親に頼る場面も……。心と身体が大きく成長し始める時期だからこそ、お子様の発達や不安をじっくりと見つめ、親として力強くサポートすることが大切です。お子様が生き生きと成長していけるよう、日々の生活について親子で確かめ合しましょう。

各ページにチェックリストがありますので、親子で話し合いながら確認してみましょう。
チェックリストの内容は目安です。

千葉県教育委員会

「小学生(4・5・6年)」 に注目

- I 親の影響を強く受ける生活から友達を中心とした生活への変化が始まります。
- II こまごまとした親の干渉を嫌がる一方で、まだまだ親の支えが必要です。
- III 考える力が大きく成長する時期です。学習内容が質的に変化します。
- IV 自分を客観的に評価できるようになり、優越感・劣等感が芽生えます。
- V ゲームやインターネットを通じた疑似的・間接的な体験が増えます。

身につけさせたい I 基本的な生活習慣ときまり



親子でチェック

- | | | |
|--------------------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 1 生活のリズム(早寝早起き朝ごはん)を身につけている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 2 家族みんなとあいさつをしている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 3 健康に気をつけて生活している。(手洗い・うがい・歯磨き) | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 4 整理整頓と身だしなみに気をつけている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 5 思いやりの心をもって友達と接している。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 6 “いじめは絶対に許されない”ことについて話し合っている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 7 家庭のルールや社会のきまりを守っている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 8 なぜ、ルールやきまりを守らなければならないか理由を話している。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 9 スマートフォン・携帯電話やゲームの使い方について約束事を決めている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |

規則正しい生活習慣を!

千葉県教育委員会では、子どもの基本的な生活習慣の確立を目指し、子どもと保護者に向け、「早寝早起き朝ごはん」をスローガンとした啓発活動や情報提供を行っています。

早寝早起き朝ごはん ちば 検索



【QRコード】

いじめをみんなでなくそう

いじめているつもりはなくても、相手が「いやだな」と感じることは「いじめ」です。相手がいやな気持ちになることはぜったいにやめましょう。

ちょっかい、からかい、わるぐち、いやがっていないようにみえても本当の気持ちがわかりますか?

【はなす】勇気

いやだなと思ったらだれかに話そう。

【やめる】勇気

いじめている人はいますぐやめよう。

【とめる】勇気

いじめを見つけたらみんなでとめよう。

【みとめる】勇気

その子らしさや自分のよさも認めよう。

出典「いじめ防止啓発カード」(千葉県教育委員会)

情報モラルを身につけよう

内閣府の調査^{*1}では、小学生の保護者のうち91.5%が「インターネットの利用に関するルールを決めている」と回答していますが、72.7%の子どもしかその認識はありません。被害者にも加害者にもならないよう、親子で話し合い、以下のような家庭のルール^{*2}を決めることが大切です。

☐ 困ったことがあるときはすぐ相談する。

☐ 使用する時間や場所、目的を決める。

☐ 知らない人とやりとりしない。

☐ フィルタリングを設定する。

☐ 有料サイトを無断で利用しない。

☐ 名前や住所等の個人情報を書き込まない。

☐ ルールを守らない場合は一時利用禁止とする。

^{*1}平成29年度青少年のインターネット利用環境実態調査

^{*2}2学校から発信する家庭教育支援プログラム(千葉県教育委員会)



深めたい

II 親子のコミュニケーション



- | | | |
|-------------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 1 子どもの話を、顔を見ながら最後まで聴いている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 2 できるだけ家族だんらんの時間や場をもつようにしている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 3 学校での出来事について会話をしている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 4 困ったことは一人で悩まずに何でも話そう伝えている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 5 子どもの活動を応援したり、一緒に参加したりしている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 6 子どもの「やる気」を認め、ほめるようにしている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |

どこをほめる?

この時期の子どもは「算数は苦手だけど走るの得意」、「昨日はだめだったけど今日は調子がいい」などと自分を客観的にとらえるようになります。

子ども自身が自分をどのように評価しているかを理解した上でほめることが大切です。

結果だけでなく過程に注目し、**今がんばっていること**をほめてあげましょう。また、自信を持てずにいるときには、子どもの話を聞いて励ましてあげましょう。

信頼する人の一言

先生からアドバイスされたとたんに読書を始めたり、好きな友達の影響を受けて新しいことにチャレンジしたりするなど、親の知らないところで子どもの**やる気**が生まれていることがあります。

こうした**チャンス**を生かすためには、日頃のコミュニケーションを通じて、**子どもが誰に信頼を寄せているか**を知ることが大切です。親が子どもとその人との関係を尊重したり、信頼関係を築いたりしていると、子どもは安心して頑張ることができます。



取り組ませたい

III 家庭学習・読書の習慣

親子でチェック

- | | | |
|------------------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 1 毎日、自分で時間を決めて学習をしている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 2 学習に、より関心が高まるような会話をしている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 3 宿題をチェックしたりノートを見たりして子どもの学習を支えている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 4 学習や読書をしているときはほめたり励ましたりしている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |
| 5 本を読む姿を子どもに見せている。 | ☐ はい | ☐ いいえ |

家庭学習の習慣を!

物事をある程度抽象化して認識することが可能になり、その能力が増し、**思考力が大きく伸びる**時期です。**家庭学習の習慣**が身についているか確認しましょう。

わからないときには、あせらずじっくり取り組むよう声をかけ、努力をほめて、少しずつ**乗り越える**手助けをしてあげましょう。また、できたときには発展的な問題に取り組ませたりして、さらなるやる気を引き出しましょう。

★家庭学習の確立と充実をめざし、家庭でも活用できるヒントを掲載しています。

ちば 家庭学習のすすめ

検索

家庭読書「家読」(うちどく)のすすめ

読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにします。思考力が大きく伸びるこれからの時期に、物語や説明文など、**さまざまな読み物に挑戦**してみましょう。

親が読書する姿を見せると、子どもの読書への**関心・意欲**を高めることができます。また、家族で読書の日を設けたり、同じ本を読んで感想を話し合ったりすると、家族の絆も深まります。

★「図書館司書が選んだ子どもに読んでほしい本100選」(千葉県)が参考になります。

ちば 本 100選

検索

